



はくろ（白鷺）の散歩Ⅵ

令和6年7月12日
～校長室の窓から～ 令和6年度 No.7
神奈川県立平塚中等教育学校
校長 松本 靖史

【本校も七夕まつり】

本校が所在する平塚は、「湘南ひらつか七夕」まつりが有名ですが、本校でも、7日7日の七夕に合わせ、平塚市から頂いた笹を生徒会本部役員がラウンジに飾り、短冊を用意しました。

多くの生徒が短冊に願い事を書き、笹にかざっていました。願い事の多くが、大学受験合格や大会上位進出、彼氏彼女欲しいといったものでしたが、中には「世界平和」と書いてくれる人がいました。ウクライナやパレスチナで「戦争」が起きている状況の中、こういうことを書いてくれる生徒は本校の誇りです。



【4年次生対象の進路講演会と教育課程説明会】

令和6年7月4日（木）の6・7校時にかけて、4年次生対象の進路講演会と教育課程説明会を実施しました。進路講演会では、追手門学院大学客員教授の倉部史記先生による「15年後の社会に向けた進路づくり～文理選択の際に考えておくべきこと～」というご講演をいただきました。

先生のお話本校生徒の反応が良く、先生のご講演も時間が押すほどでした。単なる文系・理系選びのだけの講演ではなく、近い未来がどのような社会になるのかということも含めご講演いただき、教員にとっても非常に勉強になりました。倉部先生、本当にありがとうございました。

【6年次（11期生）による課題研究発表会】

令和6年7月11日（木）の午前中に、ひらしん平塚文化芸術ホールをお借りして、11期生の課題研究発表会を開催しました。発表会には、6年次だけでなく5年次・4年次も参加しまし

た。また、今回の発表には、早稲田大学教育学部教授の藤井千春先生、東海大学体育学部教授の大越正大先生もご参加いただき、両先生からは発表後にご講評もいただきました。

発表は、4人の代表生徒により行われ、発表後には質疑応答も行われました。なお、発表会の運営も生徒主体で行われました。

4人の生徒による課題研究の発表テーマ

- 作業空間が知的生産性に与える影響
- 学校行事における著作権法上の諸課題
- ゴミ削減のための方策
- LIMEによる固定判断の課題

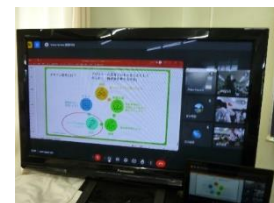
どの発表も、課題の設定、研究方法などを非常にわかりやすく発表していましたが、4・5年次の生徒が、発表の内容を



よく理解し、適切な質問をするとともに、発表者が的確に回答していたのが、印象に残りました。ご講評いただいた先生がたからもその点について高評価をいただきました。藤井先生、大越先生、ありがとうございました。

【家庭科の授業から】

1年生の技術・家庭科（家庭分野）の授業では、中学生に必要な栄養を満たす食事の単元で、「ミルミル献立計画」というアプリを使っています。このアプリは、写真で選んだ料理を組み合わせ、献立をシミュレーションし、食事バランスの感覚を身に付けて献立を考えることを目的としたものです。



生徒たちは、クロムブックを活用し、いろいろ献立を考えていました。